

東日本大震災応援メッセージ

今、できることを！ ～チャリティ講演会開催～

大阪府池田市開業 小石 剛 先生(32)



東北関東大震災を知って、私は地元池田の街づくりをやっている仲間3人で「今、できることをすぐにやろう!」「チャリティイベントをやろう」と話し合い、池田市の市長に会いに行きました。そして市の後援をもらって、3月19日の土曜日に池田駅前で震災被災地支援の募金活動、そして21日の春分の日、市の「危機管理課」の協力の下に、地震と防災、アウトドア技術、災害ボランティア、避難所での過ごし方をテーマにしたチャリティ講演会を開催しました。

私は1995年、高1のときに阪神淡路大震災を経験しました。池田は震度5強、古い町並の池田は倒壊する家も多く、私の実家も半壊しました。

ボーイスカウトをやっていたので、支援物資の届かない地域や困っている家を探してはボラン

ティア活動を行いました。

今回のチャリティ講演会の取り組みは、いろいろな皆さんの活動に刺激されて行ったことですが、これからが支援の始まりです。一過性のブームで終わらないようにしっかりと「継続」していきたいと考えています。そして、被災地への支援とともに、今後の防災に向けた準備として、日本全国の歯科関係、歯科医師会、歯科診療所で何ができるか、考えることが大切だと思います。阪神大震災の際にも、歯科からの口腔ケアの取り組みには様々な教訓や反省があると思います。

歯科が「健康づくりのリーダー」として、被災地に笑顔が戻るように応援し続け、そして日本中が笑顔でいっぱいになるようにがんばるときだと思っています。